

留 学 報 告 書

記入日:2018年3月31日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部
留学先国	オーストリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウィーン大学 現地言語: ドイツ語
留学期間	2017年10月～2018年1月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社会学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年2月27日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:10 月初旬～1 月下旬 2 学期:3 月初旬～6 月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	94,000 人
創立年	1365 年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	420×6	円	
食費	150×6	円	
図書費	100	円	
学用品費	100	円	
教養娯楽費		円	
被服費	150	円	
医療費	0	円	
保険費		42,100 円	形態:海外旅行保険
渡航旅費		95,000 円	
雑費		円	
その他	350	円	ドイツ、イタリア旅行時の費用
その他	100	円	土産代
その他	10×6	円	通信費
合計	4,280	137,100 円	

渡航関連

渡航経路:【往路】羽田-ドーハ-ウィーン(カタール航空)
【復路】ウィーン-ドーハ-羽田(カタール航空)

渡航費用 チケットの種類 _____
往路 _____
復路 _____
合計 _____ 95,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

航空券の価格比較サイトを利用しました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

インターネット

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋もきれいで広く(8帖ほど)、大きな問題はありませんでした。しかし、トイレやキッチンなどの共用部を汚す人がいて、迷惑することが多々ありました。また、自分は全く気にならなかったのですが、週2の頻度で寮のリビングでパーティーが開かれていました。騒音に敏感な方は注意してください。あと、住民さんとは上手いこと付き合うことをお勧めします。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

学内でトラブルにあったことがないので利用しませんでした。相談窓口はありました。学外で困った時には同じ寮に住んでいた日本人の友人とお互いに協力しました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ネットで調べました。ウィーンは世界でも屈指の治安の良さなので、とりたてて対策はしませんでした。実際、犯罪に巻き込まれることはありませんでした。しかし、ウィーンという安全な環境に慣れてしまったが故か、旅行で行ったドイツのミュンヘンで上着と肩掛けカバンを盗まれました。対処としては、日本の手続きとさほど変わりません。現地警察に出向いて、パスポートなどのIDを掲示し、どこで何を盗まれたかを口頭で伝え、書類に記入すればOKです。ちなみに荷物は戻ってきませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

まず、街中ですがそこら辺でWiFiを拾えます(スーパー、銀行、カフェ)。寮には、備え付けのWiFiルーターがあったのですが、速度が遅いうえに安定していませんでした。LINEでメッセージをやり取りする分には問題ありませんが、電話をする際は断線してイライラしました。携帯電話についてです。私はあらかじめ日本でSIMフリー端末(iPhone6S)を購入し、ウィーンでSIMカードを購入しました。SIMカードはスーパーなどで売っています。いろいろな種類がありますが、私はBOBという会社を選びました。購入したSIMカードには使い切りの10GBのデータ容量がついています。契約はネットを通して行うのですが、銀行口座が必要です。また、気を付けなければいけないのが、携帯電話を解約する際はだいたい1か月以上前に“書面にて”解約する旨を契約会社に伝えなければいけません。帰国日から逆算してキチンと解約手続きを行うことをお勧めします。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

私はクレジットカードを持つことに抵抗があったので持ちませんでした。その代わりに「キャッシュパスポート」というクレジットカードのように使えるプリペイドカードを利用していました。加えて、このカードはキャッシュカードのように海外のATMから現地通貨を引き出すことも可能です。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

自分が常食してるもの。中華調味料は必要だと思います。というのも、日本の和風調味料は現地で手に入りますが、中華調味料は手に入らないからです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
8 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	Michaela
授業内容	pfadenhauer
試験・課題など	課題はなし。筆記試験
感想を自由記入	社会学の入門のような授業。ヨーロッパの

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・留学希望の書類提出 ・面接
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・留学開始
10月～12月	
2018年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 ・帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私が留学を決めた理由は、日本とは全く違う文化圏に長期間滞在することが自分にどのように影響するのかという好奇心を持ったことがきっかけでした。私は日本という国について、あるいはそこで経験できる物事について全てを知っているわけではありませんが、自分の心を揺さぶるほどの出来事を経験することはあまりないだろうと考えていました。ある種の予定調和な雰囲気のなかで生活することに少し飽きを感じ、新しい刺激を求めるため留学をしようと志しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	月並みではありますが、語学力の向上に努めるのが一番です。ドイツ語はもちろんのこと、ウィーンでは英語も十分通用するので余力があれば両方勉強しておくことをお勧めします。また、留学先の国の歴史や文化を学ぶことは当然大事ですが、日本についての情報がある程度知っておかないと困ることが多々あります。具体的な例として、20世紀以降の日本の政治体制の推移や日本の人口や各都道府県の名産のような地理的なものなどが挙げられます。
この留学先を選んだ理由	大学での講義などを通して、ヨーロッパの文化や歴史などに興味を持ち留学先の候補としてドイツ語圏を選びました。私は社会学などの授業でマックス・ウェーバーやユルゲンハーバーマス、アクセルホネットなどのドイツを代表する社会学者に興味をもち、そういった学者を生んだ土地に直接赴きたいと考えようになりました。また、私は絵画や音楽などの芸術に興味を持っており町全体が芸術作品であるかのようなウィーンという街に心を惹かれ留学先としてウィーン大学を選びました。
大学・学生の雰囲気	ウィーン大学は14世紀中期に創立したドイツ語圏最古の大学であり、大階段や中庭など校舎の至る所に歴史を感じさせる意匠がちりばめられていました。しかし、ただ古びた建物というわけではありません。ガラス張りのエレベーターや洗練されたデザインのインフォメーションボードなどのモダンな設備がうまく調和しているキャンパスは、ウィーンという都市がもつ多様性を容認する意識の表れを感じさせます。学生の雰囲気として感じたのは、彼らは自らが大学生であるというに誇りを持っていました。それは決して学歴自慢などという些末なものではありません。自分と社会とのつながりを常に考えており、自分が学んでいることには価値があると信じている心の在り方には感服しました。
寮の雰囲気	寮には4帖ほどの大きさの部屋が5つ、8帖ほどの大きさの部屋が5つの計10部屋と、共用部である8帖ほどの大きさのリビングとキッチンがありました。寝る、食べる、学ぶには特に問題はありませんでした。住民間同士でのふれあいは多くはありませんでしたが、リビングで偶然会ってそのまま食事を一緒にしたり、飲んだりすることは時々ありました。また、週2程度リビングで住民とその友達がパーティーが開かれ、どんちゃん騒ぎすることがありました。
交友関係	当初はドイツ語も英語も実際に通用するようなレベルではなかったのですが、徐々に語学力が上がるにつれて周りの外国人ともある程度のやり取りが可能になりました。ドイツ語講座のクラスで一緒だった人々と食事をしたり、ウィーン大学の日本語学科に在籍している学生とも交流する機会がありました。また、外国人だけではなく、ウィーンに留学している日本人との交友もありました。外国語に触れ続けて疲弊した時には飽くまで日本語で会話していました。
困ったこと、大変だったこと	一番困ったことは、ウィーンの食が口に合わなかったことです。ウィーンは外食の単価が高いのですが、味が値段に見合っておらず度々ガッカリしていました。もちろん、美味しいお店もありますが、毎日のように通うことは現実的ではありません。なので、必然的に自炊する機会が多くなるのですが、これにも苦労させられました。日本と比べて、ウィーンでは魚の種類は多くなく、あまり状態もよくありません。野菜も日本で見かけないものでどのように調理すればいいのかわからないことがあります。
学習内容・勉強について	私は社会学部に在籍していました。履修した授業も社会学に関するものだったのですが、特にグループワークや意見交換などが行われることはない講義形式でした。授業内容自体は特に難しいものではなかったのですが、ドイツ語でたんとと進行される授業についていくのは非常に大変でした。わからない用語などがあつた時はメモ書きしたりスマホで録音するなどして対処していました。予習と復習をきちんとこなさなければ授業についていくのは大変です。

課題・試験について	私が履修した授業に課題はなく、試験一発で成績評価が決まるシステムでした。ウィーン大学の試験は明治大学のシステムとは異なり、試験が始まる少し前に改めて該当する試験を履修し直さなければいけません。しかし、私は風邪で10日間寝込んでる間に履修期間がすぎてしまい、試験を受けることができませんでした。故に、受験資格を失ってしまい単位を取ることができませんでした。私のような愚かなミスを皆さんがするとは思えませんが、気を付けてください。
大学外の活動について	同じ寮で知り合った中国人の女の子と一緒に週2くらいの頻度でランニングをしていました。異文化交流とちょっとした市内観光を兼ねておりなかなか有意義な時間でした。そのほかには、日本語学科の学生たちと日本とオーストリアの文化について話し合ったり、クリスマスマーケットに出向いたりしていました。また、オーストリアは隣接する国が多く比較的容易に旅行することができ、ドイツのケルンやミュンヘン、イタリアのフィレンツェなどに行きました。
留学を志す人へ	留学に対して抱きがちな華やかなで洗練されたイメージを捨てたほうが良いです。私は留学に対して夢や希望を抱いておりました。日本では出来ない経験や出会いが自らを高め、自己成長を促すのだと信じておりました。しかし、異国での生活の苛烈さがそういった幻想を見事に打ち崩しました。食事や生活様式など日本とは大きく異なる土地に馴染むのは想像以上に大変でした。また、外国人と触れ合う度に自己を語る力の無さに打ちのめされました。「自分は何者であるのか」という問いを何度も自身に問いかけ、アイデンティティクライシスになりかけました。留学を志す皆さんには、そういった留学の過酷な面にも留意していただきたいと思います。 しかし、そういった経験は決してマイナスであったわけではありません。むしろ自らの座標を見失い、そのことに気づかず漫然と生きていた自分を省みることができました。留学先で得たどのような経験も糧になるはずで、なので、能動的に行動して多くの経験を得てほしいと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	予習	予習					
	ドイツ語講座	講義	ドイツ語講座		掃除		
午後	ドイツ語講座	講義	ドイツ語講座	予習	ウィーン市内を散歩	買い物	美術館に行く
	買い物	復習		講義	読書	カフェで友人と談笑	
夕刻	ランニング	読書	ランニング	講義	寮の友人とランニング		ランニング
夜	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食(たまに寮の人々と酒を飲む)	オペラ鑑賞	